

教科(科目)	公民(公共)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	詳述 公共(実教出版)				
副教材等	「最新 公共 資料集 2024」(第一学習社) 「ニューコンパスノート 公共 2024」(とうほう)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 世の中で起こっている事態に対して自ら興味関心を持ち、考えることができる。</p> <p>② ニュースを見たり新聞を読んだりして、現代の社会で生じている諸問題について理解し、課題を解決する方法が見つけられる。</p> <p>③ 様々なメディアを通して情報を獲得し、的確に活用・判断できる。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公共の基本的問題と人間としての在り方、生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	公共の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方、生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断することができる。	公共の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代の社会に生きる人間としての在り方、生き方について自覚を深めようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価方法
4	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	4	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
5	第2章 人間としてよく生きる	7	・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
6	第3章 民主社会の倫理	3	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物

7 8 9	第4章 民主国家における基本原理	5	公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	7	法の規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
10	第2章 日本の政治機構と政治参加	10	政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
11	第3章 現代の経済社会	8	・財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
11 12	第4章 経済活動のあり方と国民福祉	9	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物
1	第5章 国際政治の動向と課題	6	・国家主権、領土（領海、領空を含む）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や、領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。	課題考査 定期考査 授業の取組 課題・提出物

2	第6章 国際経済の動向と課題	6	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	課題 定期 授業の 課題・提出物
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	5	・第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりと寝る考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技術を活用している。	課題 定期 授業の 課題・提出物

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・問題集 (ニューコンパスノート「公共」2024 週末課題として提出あり。)
- ・長期休業中の課題 (長期休業終了後提出あり。)

8 担当者からの一言

「公共」は、主権者として社会を形成していくための基礎、基本を身に付けるための科目です。前期課程の「社会」で身に付けた知識を思い出しながら、基礎事項をしっかりと理解し、考える力をつけてください。
(担当：小原沢 公啓)